熊本がもっと近くに！

阿蘇

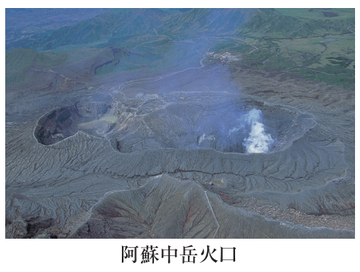
阿蘇カルデラツアー

体験型の旅行が注目を集める中、阿蘇温泉観光旅館協同組合旅行事業部では昨年末から着地型旅行の販売をスタートしている。阿蘇の自然やパワースポット、オーダーメイド旅行など、その時々にあわせて、ツアーが企画されている。

この夏には「幻想的“ホタル”観賞・ガイド付きツアー」を発売。阿蘇市内約60ヶ所の中から、その日の一番のスポットを案内する。開催日は6月1日～6月30日の毎日。料金は大人1人が1000円。小学生未満の子供は無料。所要時間は約1時間。ツアー当日まで申し込み可能。

限定ものでは、「1日1組限定！オーダーメイドプラン！阿蘇の達人がお客様のご希望に併せ阿蘇をご案内！」を発売。

阿蘇の自然・名水・食・パワースポットを130％楽しむ1日をテーマに、専属ガイドが希望の時間に併せ同行する。料金は、半日コース（1～4時時間）で、2名迄（小型タクシー）20,000円、3～8名（ジャンボタクシー）26000円。終日コース（4時間～8時間迄）は、2名迄（小型タクシー）　32000円、3～8名（ジャンボタクシー）、42000円。料金は1台（組）あたりの料金なので、参加人数が多いと割安となる。設定日は、7月1日～8月31日の間（8月1～15日の間除く）。申込締切日は、ツアー7日前迄。食事、飲み物、入場料などはツアー費に含まれない。他のツアーに関しては、同組合ホームページで確認できる。


阿蘇中岳火口

阿蘇山ロープウェー

阿蘇山ロープウェーは世界で初めて活火山に架けられたロープウェーで、登山バスの終点阿蘇山西駅から火口縁の火口西駅まで、高低差108ｍを所要時間4分で結ぶ。

ゴンドラは91人乗り。幅の広い窓からは阿蘇山特有の荒涼とした大地と雄大なカルデラを見下ろすことができる。

また、ゴンドラが昨年9月にリニューアル。デザインは、九州新幹線「つばめ」などのデザインを手掛けた水戸岡鋭治氏。ゴンドラ外部が白く塗装されたほか、車内には自然の木を使用。木のベンチも設置された。

阿蘇山ロープウェー

黒川温泉

南阿蘇エリア

南阿蘇エリアには、トロッコ列車を運行する南阿蘇鉄道がある。沿線は、立野から高森。途中には、日本一長い駅名の「南阿蘇水の生まれる里白水高原駅」がある。

途中にある第一白川橋梁からは、阿蘇の山々や高さ62メートルの白川の大渓谷のスリルを味わえる。終点の高森は阿蘇の湧き水に恵まれたところ。

高森駅の近くには湧き水と触れあえる湧水トンネル公園がある。開放されているトンネルの長さは550メートル。常時、毎分32トンの湧水量があり、この大量の湧水を利用して公園化された。旧国鉄のトンネル工事跡をの一部を開放した公園で、ライトアップされているほか、水のオブジェも配置されている。トンネル内は、夏は涼しく、冬が暖かいのが特徴。

高森の郷土料理としては、囲炉裏端で豆腐に味噌を付けて焼く田楽が有名。ヤマメなどの川魚も焼く。他にも阿蘇の溶岩を使った、溶岩焼きを扱う店もあり、ニラと馬肉を焼く馬肉焼きは人気メニューとなっている。

熊本だけでなく、九州でもめずらしい日本酒の造り酒屋がある。山村酒造では、ギャラリーと試飲販売スペースを設置しているほか、予約制で酒蔵見学もできる。

わいた温泉郷

馬肉焼き

わいた温泉郷

わいた温泉郷は、小国富士とも呼ばれる涌蓋山（わいたさん）麓に広がる、はげの湯温泉、岳の湯温泉、山川温泉など6つの温泉地の総称。自然も豊かで鄙びた隠れ里のような佇まいの温泉地。温泉街のあちらこちらから、白い蒸気が立ち上る風景は、わいた温泉のシンボルともいえる風景。24時間利用のコイン式の家族風呂で、近年人気が高まっている。

黒川温泉

熊本県で、最も人気を集めるのは黒川温泉。情緒ある町並みと露天風呂、特に各旅館の露天風呂が巡れる「入湯手形」のヒットで、全国区の温泉地に。今では海外からの観光客も多い。人気が高まりすぎて、予約がいっぱいや、多くの観光客で溢れているというイメージが定着してしまったが、平日なら十分宿泊は可能。また予約サイトや旅行会社取り扱いでない旅館もあるので、黒川温泉の旅館協同組合のホームページや電話で空き室状況を確認すれば、予約できることがある。

坂本善三美術館

小国町では、同町出身の画家、坂本善三氏の功績を讃え、同美術館を開館。

建物は、明治5年に小国町下城に建てられた古民家を移築。さらに新築した展示棟と収蔵棟は、珍しい日本で唯一の全館畳敷きの美術館。畳に腰をおろしてゆっくりと作品を鑑賞できるのが特徴。

鍋ケ滝

テレビCMのロケ地としても知名度が高まっている鍋ヶ滝。高さ10ｍ・幅20ｍの穏やかで優雅な雰囲気の滝です。裏側を通って対岸へ出ることができる珍しい滝。

阿蘇そば

そば街道

小国には、そば街道と呼ばれる本格的なそばを提供するエリアがある。古民家風の造りで、庭や草木を眺めながらそばを楽しむことができる。

杖立温泉

杖立温泉街は、熊本県と大分県の県境に位置し、昭和の初期から中期頃、「九州の奥座敷」「福岡の奥座敷」と呼ばれ、特に賑わった。

近年杖立温泉で、注目を集めているのが、温泉街の路地裏である「背戸屋（せどや）」の散策。古き良き昭和の時代を色濃く残したレトロな「背戸屋」をみちくさ案内人がガイドしてくれる。所要時間は約1時間30分。杖立プリンとお茶のサービスなどが受けられる。また、杖立温泉街にあった「甘玉子（あまたまご）」という名のお菓子がプリンに似ていたことで、各旅館や飲食店がオリジナルの創作プリンを開発し販売している。お店でしか食べれないものや持ち帰りのみなどお店によって販売形態は異なる。

杖立温泉みちくさ案内人

熊本城

日本三名城の一つに数えられる熊本城に復元された本丸御殿大広間。熊本城の歴史的建造物の復元のひとつで、本丸御殿をはじめ、西出丸の塀、戌亥櫓、元太鼓櫓、奉行丸の塀、未申櫓、南大手門など熊本城への登城ルートの建造物を復元している。

本丸御殿大広間（ほんまるごてんおおひろま）とは

往時の本丸御殿には、藩主の居間、対面所（接客の場）や台所などの機能が備わっていた。今回の復元では大広間（対面所）、数寄屋（茶室）と大台所を再現した。全体の延床面積は、約2951平方メートルにもなる。

昭君之間（しょうくんのま）

昭君之間（しょうくんのま）

昭君之間は床の間や違い棚、付書院（つけしょいん）などを持つ書院造りで、鉤上段（かぎじょうだん）、帳台構（ちょうだいがまえ）なども備えている。部屋全体にきらびやかな装飾が施され、本丸御殿大広間の中でも一番格式の高い部屋で、対面所（接客の場）として使用されたと考えられている。

上段とは、床が一段上がった部分のことで、L字型の上段は鉤上段という。内装も本物の材料を使用し、御殿らしい品格のある雰囲気がただよう。

昭君之間の折上げ天井には、京都で制作された障壁画や飾り金具が使われており必見。昭君之間の天井画は全部で60枚あり、漆塗りの折上げ格天井とともに部屋を豪華に彩る。

横井小楠記念館

人吉

熊本県の人吉は、肥薩線全線開通100年を記念してSLが熊本～人吉間で復活。注目を集めている。人吉・球磨での観光は、球磨川下り、国宝の青井阿蘇神社、球磨焼酎などがある。

青井阿蘇神社は、中世球磨（くま）地方に展開した独自性の強い建築様式を継承しつつ、桃山期の華麗な装飾性を取り入れていることが特徴となっている。

人吉の球磨焼酎は、焼酎ブランドとして唯一認められている。28の蔵があり、焼酎蔵などの見学を受け入れているところもある。

球磨川沿いに温泉街が広がる人吉温泉。泉質はナトリウム塩化物炭酸水素塩泉、源泉が30カ所あり、湯量も豊富。共同浴場も多く、22軒が営業する。中でも最も古いのが元湯という共同浴場。旅館ホテルも個人や団体、修学旅行から、高級タイプまで様々なニーズに対応できる。

青井阿蘇神社

龍馬ゆかりの地 横井小楠記念館（四時軒）

坂本龍馬が勝海舟の指示で3度訪れたと言われる幕末の思想家である横井小楠の家塾跡が熊本市東部の沼山津にある四時軒。坂本龍馬に強い影響を与えた横井小楠の生涯やゆかりの品々を展示している。

天草

熊本県の天草といえば、天草・島原の乱で知られる天草四郎ゆかりの地として思い出す人は多い。実際、関連する施設や教会など、隠れキリシタンの存在を示す非常に興味深いものが多い。明治の文学者の足跡をたどる遊歩道「五足の靴」が脚光を浴びている。明治40年に与謝野鉄幹、平野万里、木下杢太郎、北原白秋と吉井勇ら5人の詩人たちが天草を訪れ、28キロの山道を歩いた。その旧道が「五足の靴文学歩道」として整備されている。

他にもイルカウォッチングやスキューバダイビングなど海に囲まれた島ならではの観光が楽しめる。5つの橋からなる天草パールラインによって九州本土につながっており、通常の観光ルートのように扱える。天草空港からは、福岡空港と熊本空港にも航路がありそれぞれ最適なアクセスを選べる。

温泉も2カ所あり松島温泉は雲仙天草国立公園の中にある美しい景観の温泉地。下田温泉は、新鮮な海の幸と絶景といわれる天草西海岸の夕日を楽しむことができる温泉街。天草地方では、伊勢エビ料理や海賊グルメ（春は伊勢海老、夏は車海老、秋は渡りガニ、冬はブリ・ヒラメ・タイ）など四季折々の新鮮な海鮮料理が楽しめる。

また、天草へはJR三角駅にも近い三角港から、松島港と本渡港をクルーザー船で結ぶ「天草宝島ライン」が運航されている。

イルカウォッチング

熊本交通アクセス 別府

別府八湯

〈泉　質〉（地球上の11種類中10種類）
単純温泉・塩化物泉・炭酸水素塩泉
硫酸塩泉・二酸化炭素泉・含鉄泉
含銅一鉄泉・硫黄泉・酸性泉
含アルミニウム泉

別府八湯には、源泉数が2500以上。1日当たりの湧出量は毎分約9万リットルと日本一のスケールを誇る。泉質は地球上にある11種類の内10種類までが別府に存在する。温泉好きにはたまらないスケールでの湯めぐりが可能だ。歴史のある湯治場として、明治、大正、昭和など地域ごとに時代ごとの町並や建物も残している。一度は聞いたことが無いだろうか別府の地獄めぐりを。別府市の鉄輪温泉などでは、昔から温泉の噴気や熱泥、熱湯などが噴出していたところを「地獄」と呼ぶ。間欠泉や成分が濃い温泉が景勝地や観光スポットになっている。温泉に浸かるだけではなく、情緒あふれる街並みを散策したり、季節を彩るイベントも盛り沢山だ。

堀田（ほりた）

田畑や谷あいから盛んに硫気が噴き出している湯量豊富な温泉。高齢者や身障者に配慮した露天風呂を備えた温泉がある。別府の中でも特にのどかでそのままの自然を楽しめる。

別府（べっぷ）

温泉場として江戸時代より脚光を浴び始め、別府港、JRなど交通網の発達により温泉施設、温泉宿が立ち並ぶ別府の中心。別府温泉のシンボルの温泉施設「竹瓦温泉」がある。

観海寺（かんかいじ）

鶴見岳を背景に、標高150mの高台にある温泉地。豊富な湯量と眺望の素晴らしさを背景に大規模なホテルが建ち並ぶ近代的温泉地。静かな環境と自然に恵まれ、昼夜を問わず高台から素晴らしい市街地の景色を楽しめる。

柴石（しばせき）

八九五年に醍醐天皇が、一〇四四年には後冷泉天皇が病気治療のためご湯治されたと伝えられている。江戸時代に柴の化石が見つかり、「柴石」と呼ばれるようになった。温度の違う2つの温泉や露天風呂、蒸し湯が楽しめ、家族湯もある。自森林遊歩道があり、森林浴も楽しめる。鉄輪と明礬とともに国民温泉保養地に指定されている。

浜脇（はまわき）

別府市街の南端部に位置し、別府温泉発祥の地の一つ。浜から温泉が湧き出る様子から「浜わき」の地名が生まれた。明治、大正時代の名残りを止めながらも、多目的温泉保養施設の「湯都ピア浜脇」がある。

明礬（みょうばん）

江戸時代から入浴剤の基となる“みょうばん”の採取地。白い噴煙が上がる藁葺きの「湯の花小屋」が並び辺り一面に硫黄の匂いが立ちこめる。湯治場の情緒と雰囲気を楽しめる。

亀川（かめがわ）

海岸に豊富な温泉が湧出し天然砂湯は亀川温泉の名物。一遍上人が上陸したといわれる地にある上人ヶ浜公園の一角に市営の別府海浜砂湯が有り、周辺には温泉を活用した病院や療養施設、保養所が数多くある。下町の風情を残す街並みも魅力のひとつ。

鉄輪（かんなわ）

昔ながらの湯治場の情緒を残す温泉地で、おびただしい湯けむりが立ち上ぼる風景は、「21世紀に残したい日本の風景」で富士山に次いで全国第2位に選ばれるほど。普通浴のほかに温泉熱を利用したむし湯等の様々な温泉の楽しみ方ができる。

温泉初心者には、地獄の紹介を…

別府地獄めぐりとは、『海地獄』『鬼石坊主地獄』『山地獄』『かまど地獄』『鬼山地獄』『白池地獄』『血の池地獄』『龍巻地獄』。地獄とは温泉や温泉蒸気の噴出しているところで、別府には、多種多様な源泉があるため、様々な色合いや独特の現象を見学できる。また、昨年7月23日に「別府の地獄」として、海地獄、血の池地獄、龍巻地獄、白池地獄の4地獄が国の名勝に指定された。

4つの地獄は「日本古来の温泉地として名高い別府の中でも、独特で多様な色彩・形態の下に湧出する観賞上の価値、名所的・学術的価値の高い泉源である」ことが評価された。

- 海地獄、神秘的で涼しげなコバルトブルーの池…。じっとみていると海のようですが、実は摂氏98度もあるのです。
- 鬼石坊主地獄は灰色の熱泥が沸騰する様子が坊主頭に似ている事からその名がついた。温泉入浴施設もある。
- 山地獄は、山の至るところからモウモウと噴気が上がっていることからこの名前がついた。温泉熱を利用して、カバやサル、フラミンゴ、アフリカゾウなどが飼育されている。
- かまど地獄は1丁目～6丁目までさまざまな湯の池がある。
- 鬼山地獄は、別名「ワニ地獄」とも呼ばれ、大正12年に日本で初めて温泉熱を利用し、ワニ飼育を開始し、クロコダイル、アリゲーターなど世界のワニ 約100頭を飼育している。
- 白池地獄は、噴出する熱湯は無色透明ながら、池に落ちると青白く色が変化する。また、白池地獄には温泉熱を利用したピラニアなどを飼育する熱帯魚館がある。
- 血の池地獄 は日本で一番古い天然の地獄で、「赤い熱泥の池」。
- 龍巻地獄は、別府市の天然記念物にも指定される間欠泉。豪快に噴き出した熱水は、屋根で止められているが50mほど噴き出す力がある。

地獄蒸し工房鉄輪オープン

温泉蒸気を使った料理「地獄蒸し」を体験できる観光施設「地獄蒸し工房鉄輪」が3月28日に古くから湯治場として栄えた鉄輪温泉のメインストリート「いでゆ坂」沿いにオープンした。

「地獄蒸し」は、約100度の温泉蒸気で食材を一気に蒸し上げる料理法。食材は、湯治客向けの商店で、鮮魚や野菜などを購入して持ち込む。野菜は甘く仕上がり、肉類は余分な脂が落ちてヘルシーに仕上がる。調理も常駐スタッフがいるので、初めての人でも安心。

蒸し釜は15基で、利用料は30分以内500円。食事・休憩スペースのほか、足湯と足蒸しの施設も併設している。

住所：〒874-0845 大分県別府市風呂本５組
営業時間 :09:00 ～ 21：00(毎月第３水曜定休)
電話 :0977-66-3775
料金：地獄蒸し釜基本使用料 (30 分以内)・・・500 円
※施設入館料、足蒸し、足湯は無料

鮮魚や野菜の地獄蒸し

地獄蒸し工房鉄輪の内部

足湯と足蒸しの施設

おすすめ別府 ご当地B級グルメ

別府とり天Bメン&冷麺団が厳選した市内25店舗の「とり天」「冷麺」を食べ歩きながらスタンプを集めるとオリジナルグッズが貰える。参加方法は、スタンプラリー用紙を別府駅観光案内所や参加店等の配付場所または、インターネットで入手。「とり天」か「冷麺」を食べたお店でスタンプを押してもらう。列がそろったらプレゼント交換所でオリジナルグッズを貰える。

別府冷麺

別府のご当地B級グルメといえば別府冷麺。
中国東北部（旧満州）から引き揚げてきた料理人が朝鮮冷麺を和風にアレンジしたと言われている。別府冷麺の麺は、太目で弾力のあるモチモチとした麺と、中細麺で喉越しの良いツルツルした麺の二系統に大別される。共通しているのは和風ダシをベースにしたスープが多いこと。
また、多くのお店では自家製麺を使用し、手打ちの生地を製麺機で押し出す姿を目にする事ができる。

とり天

「とり天」は別府や大分地域では、どこでもあるメジャーなメニューで、発祥は昭和のはじめ、別府市の東洋軒というレストラン。 とり天の言葉の起こりは、舶来料理(中華+西洋)レストランでとり天発祥の店「東洋軒」での、ホールと厨房間の注文の際の言葉として生まれたと言われている。とり天は発祥の台湾中華系のとり天から、和風な天ぷらに近いとり天、はたまた西洋料理系のとり天、そして創作系などなど。タレはオリジナルで、かぼすやカラシが添えられることも。

おすすめ別府スィーツ

別府市民によるアンケートで、別府の名物スイーツを調査したところ圧倒的に票を集めたのが温泉蒸気を利用した地獄蒸しプリン。温泉蒸気を利用した地獄蒸しのプリンやコラーゲン入りの美肌プリンなど多様多種のプリンがある。

地獄蒸し焼きプリン

海地獄の温泉で蒸し焼きにしたもの。
卵に牛乳・砂糖のみ使用。手作りの濃厚な味に全国各地にファンが多い。

血の池プリン

赤ワインで色付けしたジュレで血の池地獄を再現。別府の厳選食材を使った、添加物なしのこだわりプリン。
一日50～100個限定、売り切れ次第終了。

九州の定番観光コース

九州の定番観光コースは、阿蘇と別府。ルートの途中にある、別府ロープウェイ、湯布院や九重を観光し、やまなみハイウェイを通って阿蘇に入るのはゴールデンルートで、逆向きも当然人気コースとなっている。

別府ロープウェイは、標高503mの高原駅から1300mの鶴見山上駅まで約10分の空中散歩。西日本最大級101名乗りの大型ゴンドラからは別府湾が望できる。さらに、鶴見山上駅は徒歩で頂上に登ることができ、360度の大パノラマを見学できる。大人（中学生含む）1400円　小人（4才以上）700円。

11月まではナイター営業日もあり、ナイター時の、のぼりは20:40、くだり21:20が最終。ナイター営業日は要確認。

鶴見山上からの眺望

■問い合わせ先／別府ロープウェイ（0977-22-2278）

リバイバル新婚旅行に金のプレート

かつて新婚旅行ブームに湧いた別府では、リバイバル新婚旅行の特別企画として、別府市内の指定の旅館ホテルに4泊（2人で併せて8泊）以上宿泊すると、先着88組に純金製の記念のプレートが貰える。サイズは名刺サイズで、氏名などが刻印され専用ケースも付く。

純金製の記念プレート

■問い合わせ先
別府市旅館ホテル組合連合会
（0977-22-0401）

九州新幹線
平成23年3月 全線開業
新幹線「さくら」新大阪～熊本　直通運転
熊本県観光総合サイト　http://kumanago.jp/
（社）熊本県観光連盟 TEL096-382-2660
熊本県観光交流国際課 TEL096-333-2335
熊本県東京事務所（銀座熊本館） TEL03-3572-5022
熊本県大阪事務所 TEL06-6344-3883
熊本県福岡事務所 TEL092-737-1313

社団法人 別府市観光協会
〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号 TEL.0977-24-2828
http://www.beppu-navi.jp
●2010年春オンパク
http://www.onpaku.jp/
●開催日
2010年5月7日（金）～30日（日）